



## 外国出張報告書

平成 28 年 1 月 22 日

1. 出張国名            ヨルダン
2. 出張月            平成 27 年 12 月
3. 出張目的            ヨルダンの農業、灌漑、水資源管理に関する情報・研究動向の調査:D

#### 4. 成果の概要

ヨルダンにおける研究ニーズ把握を行うため現地調査を実施した。在ヨルダン日本国大使館、JICA 事務所では、日本の援助動向、現地の安全状況などについて情報を得た。また、国立農業研究・普及センター (NCARE)、ヨルダン大学、国際乾燥地農業研究センター (ICARDA) などで、ヨルダンの農業・灌漑に関する情報、研究動向について情報収集し、作物用水量の適正化、ウォーターハーベスティング (WH) など水に関する研究が重要テーマであることを確認した。ヨルダン渓谷、北部高地、乾燥放牧地などを視察し、水管理者からは水資源および水管理の現状を、農家からは栽培作物、灌漑の実施状況などを聞き取った。また、現地踏査により農地の利用状況、灌漑施設および灌漑法の確認、用水の電気伝導度の測定などを行い、1 農家は節水灌漑の導入には積極である一方、その使用法および用水管理には改善の余地がある、2 灌漑水には塩類が含まれており圃場の塩類コントロールが必要である、3 生活廃水処理水の灌漑利用は増加する見込みであるが、水質面の影響について検討を要する、4 広域の水資源管理の研究が必要である、などの課題を明らかにした。